

目標はオリンピック出場

ジュニア新人の部女子シングルス優勝

11月9日、鎮西中学校2年の櫻本^{さくらもとあやこ}絢子さんが、第28回全日本ジュニアバドミントン選手権大会ジュニア新人の部女子シングルスでの優勝を、伊藤信勝市長に報告しました。

バドミントンは母久美子さんの影響で5歳から始め、小学生の時から数々の大会で優勝。今年のジュニアナショナルチーム(U-16)代表選手にも選ばれています。

週4回岡垣町のクラブで練習し、それ以外の日も陸上競技場や総合体育館で汗を流しているという櫻本さん。「練習はきつけど、自分がうまくなっていくのが楽しい」と話しました。

「目標はオリンピック出場。スピードが速く攻撃力のある選手になりたい」と笑顔で抱負を語りました。



▲優勝カップを手に笑顔を見せる櫻本さん



▲「自分の作品が選ばれるとは信じられませんでした」と齋藤さん

木にしか出せない質感を見て

全国高等学校総合文化祭に出展

11月10日、田川科学技術高等学校2年の齋藤^{さいとうみづき}美月さんが制作した工芸作品「水流」が、来年8月に宮崎県で開催される「第34回全国高等学校総合文化祭」に出展されることになり、伊藤信勝市長に報告に訪れました。

「水に落ちた球体から水泡が浮かびあがる様子をイメージした」という作品は、県内71点の工芸作品の中から、筑豊地区では唯一全国推薦作品に選ばれました。

齋藤さんは、中学までを海に囲まれた長崎県の対馬で過ごし、「水をテーマにした作品を作りたいかった」と今回の作品づくりに取り組んだそうです。将来は「木製の子どものおもちゃや、家具製品を作る仕事に就きたい」と抱負を語りました。

全員三振を取りたい

NPBジュニアトーナメント出場

12月3日、「2009福岡ソフトバンクホークスジュニアチーム」に合格した、田川小学校6年で西田川ジュニアクラブに所属する武石^{たけいしけん}健君が、伊藤信勝市長を表敬訪問しました。

武石君は、9月下旬に行われたソフトバンクジュニアの1次・2次選考会に「自分がどのくらいいけるか挑戦したい」と応募。約500人の応募者の中から、18人のメンバーに選ばれました。

12月24日から開催される「NPB12球団ジュニアトーナメント」まで、毎週末、合同練習や練習試合に参加。

「わくわくする気持ちもあるが不安もあります。出場するからには全員から三振を取りたい」と抱負を話しました。



▲永井智浩監督の見守る中投球練習をする武石君